

6. バブルラップ

バブルラップという商品がある。これは誰でも一度は見たことがある物だが、初めて作られた時は、今と全然^{ぜんぜんちが}違う使い方だった。この商品の使い方はどのように変わって、そして、どうやって世界に広がっていったのだろうか。

ある発明品^{はつめいひん}が、最初の使い方ではなくて、別の使い方^{かち}で価値が出ることもある。

1957 年にアメリカ人エンジニアのアルフレッド・フィールディングとスイス人発明家のマルク・シャバンヌは、それまでにない新しい^{かべがみ}壁紙を作ろうとしていた。二人は、2 枚のシャワーカーテンを^は貼り^あ合わせて、その間に^{くうき}空気^{あわ}の泡を閉じ込めた。完成した^{かんせい}壁紙は、^{かべがみ}空気^{くうき}の泡^{あわ}でデコボコしたものだった。しかし、その^{かべがみ}壁紙はほとんど売れなかった。それで、シールドエアーという彼らの会社は、この^{かべがみ}壁紙をビニールハウスの^{おお}覆いとして売ることにした。これは少し売れたが、彼らはまだまだ^{まんぞく}満足しなかった。

そんなとき、二つの出来事^{できごと}が重なって、全く新しいアイデアが生まれた。一つは、コンピューター会社の IBM が 1401 という新しいコンピューターを作ったことだった。そしてもう一つは、シールドエアーの社員^{ひこうき}が飛行機に乗っていたときに、ある景色^{けしき}を見たことだった。

1959 年のある日、シールドエアーの社員のフレデリック・バウワーズは、^{ひこうき}飛行機に乗っていた。^{ひこうき}飛行機^{まど}の窓から外を見ると、^{ひこうき}飛行機の下に広がる雲が見えた。雲はまるで柔らかい枕のように、飛行機をやさしく支えていた。その瞬間、彼は^{れきし}歴史に残るアイデアを思い付いた。商品^{ほご}を保護するために、シールドエアーの^{はつめいひん}発明品を使ったらどうだろうか。^{はこ}運ぶ途中^{とちゅう}で壊れてはいけなようなデリケートな商品・・・例えば、コンピューター！

バウワーズは IBM に行って、自分たちの発明品^{はつめいひん}を紹介^{しょうかい}し、どうやって使うのか説明した。IBM の人たちは発明品^{はつめいひん}を気に入って、1401 を保護^{ほご}するのに使うことを決めた。1401 はその後、世界で最もよく使われたコンピューターの一つとなったのである。

コンピューターだけではなく、デリケートな商品をどうやって保護^{ほご}するかは、多くの会社の長年の問題だった。この新しい梱包材^{こんぼうざい}の素晴らしさが理解^すされると、この梱包材^{こんぼう}はどんどん広がっていった。

今、この梱包材^{こんぼうざい}はバブルラップ^{ばぶらっぷ}として知られている。企業が高価な商品^{こうか}を包んだり、誕生日プレゼント^{ゆうびん}を郵便で送るときに包んだり、いろいろな所で使われている。そして、子どもたちがバブルラップを潰^なして音を鳴らして遊ぶこともある。しかし、これを壁紙^{かべがみ}として使っている人はいないだろう。

今では、シールドエアーは世界的な会社^{ちきゅう}となっていて、毎年地球10 周分の長さのバブルラップを作っている。

単語リスト：

発明品（はつめいひん）	Sản phẩm được phát minh	保護する（ほごする）	Bảo vệ
壁紙（かべがみ）	Giấy dán tường	途中で（とちゅうで）	Nửa chừng
完成（かんせい）	Hoàn thành	曇（くも）	Mây
空気（くうき）	Không khí	デリケートな	Tinh vi
ビニールハウスの覆い（おおい）	Đồ che phủ nhà kính (trồng cây)	梱包材（こんぼうざい）	Vật liệu đóng gói
飛行機（ひこうき）	Máy bay	潰す（つぶす）	Bóp bễ
思い付く（おもいつく）	Nghĩ ra	地球（ちきゅう）	Trái đất